



機動戦闘車中隊 第1次訓練検閲に向けた 小隊検閲を実施



諸職種協同で任務達成！

機動戦闘車中隊小隊検閲

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊機動 基本的行動及び隊員の基
戦闘車中隊(中隊長・宮 礎動作)の3点を重視し
本義章3佐)は、6月3
日から4日の2日間にお
たり、令和7年度小隊訓
練検閲を実施した。
本検閲は、機動戦闘車
小隊の訓練態度を評価す
るとともに、今後の進歩
向上を促すことを目的
に、主要演習項目として
「小隊長及び車長の指
揮・状況判断」、「諸職
行進においては偽装等の
種協同能力」、「部隊の
準備を万全にした後、昼

夜間行進を実施した。
行進間、増強機動戦闘
車中隊として協同部隊と
連絡を密にし、的確な速
度調整により円滑に行進
を実施して夜間の視界不
良時においても部隊間隔
が伸縮することなく予定
どおりに集結地に進出し
た。
集結地到着後は、攻
撃命令下達を実施して翌
日の遭遇戦に備えた。
翌日、早朝の遭遇戦に

において、受閲小隊は整齊
と前進態勢を完了し、事
前に小隊長に付与された
課題による各種見解に基
づいて小銃小隊、前進観
測班と緊密に連携して戦
闘を実施した。
受閲小隊は普段の練成
成果を遺憾なく発揮し、
全隊員が心を一つにして
本検閲を無事に終了し
た。
本検閲を今後の訓練の
資として、諸職種協同の
結束力を強固なものとし
て、今後の中隊訓練検閲
に万全を期すため練成訓
練を積み重ね、更なる練
度向上を図っていく。



▲車両行進



▲念入りに偽装を施す



▲敵を待ち構える無反動砲手

美幌駐屯地 創立74周年記念行事

飛躍

市中パレード(美幌町様通り)
7月19日13:30~13:50

駐屯地記念日(美幌駐屯地)
7月21日9:00~15:00

駐屯地記念日イベント

記念式典

公開訓練

ちびっ子コーナー

※荒天時は変更する場合があります。



駐屯地駐車場には限り
があります。美幌町内か
ら駐屯地までシャトルハ
スを運行しますのでご利用
ください。シャトルバス
の運行については、ホ
ムページ「イベント情報」
をご確認ください。

美幌駐屯地ホームページで
最新ニュースをチェック!!

体験試乗ご案内
体験試乗はご希望の
方から順次ご案内し
ます。時間に限りがご
ざいますので、お早め
にお越し下さい。

第74回駐屯地記念日ポスターが完成しました！記念日に関する情報は、QRコードから駐屯地ホームページ内イベント案内ページをご覧ください。



▲儀じょう隊長・見原康二郎3尉



▲らっぱ隊長・中野祐二1曹



▲旗手・嶋中拓3曹

第42代北部方面総監 井土川 一友陸将初度視察

6月3日に実施された北部方面総監による美幌駐屯地初度巡視において、儀じょう隊長・見原康二郎3尉、らっぱ隊長・中野祐二1曹、旗手・嶋中拓3曹の3名の隊員がチャレンジメダルを授与されました。

陸曹が部隊を強くする！

第1回連隊戦技PJ集合訓練

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊最先任上級曹長(松本浩紀准尉)は、5月8日から23日までの間、令和7年度第1回連隊戦技プロジェクトチーム(以下PJ)集合訓練を実施した。



▲射撃姿勢ドリル

連隊戦技PJは、各中隊の中核的な陸曹が年間を通じて新装備品の早期慣熟、各種戦技訓練の体系整理、マニュアルの作成等を連隊内で横断的に実施するとともに、各中隊においては訓練指導者として活躍し、連隊全体の齊一かつ効率的な練度向上に資するためのチームであり、第1回集合訓練では連隊戦技PJ要員として保持すべき練度について認識を合わせる目的で実施した。



▲市街地訓練

行動の能力の向上を図った。また、指導力の向上のため、教育の結節ごとに参加者による1分間スピーチを実施させ、どうすれば伝えたいことを相手に理解させることが出来るかについて演練させた。

仲間を救うスキルを学ぶ！

救急法及び野外衛生

自衛官候補生教育隊

第6即応機動連隊自衛官候補生教育隊(教育隊長・松本浩紀准尉)は、4月21日、美幌駐屯地において自衛官候補生に



▲仲間の止血

野外衛生について教育を実施した。本教育は候補生に対し、衛生に関する基礎となる処置技術について教育し、その概要を理解させることを目的に実施した。



▲心肺蘇生法を演練

当初、メデカルポーチ内の止血帯及びエマージェンシーバンデージを使用して負傷した際の止血要領を演練した。候補生は悪戦苦闘しながらも止血帯等を用いた圧迫止血及び緊縛止血を体験した。教育後半には心肺蘇生法を演練し心臓マッサージの大切さと仲間と連携する重要性を経験した。



▲仲間との連携

整備任務を完遂せよ！

然別演習場春季定期整備

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊(連隊長・中津健士1佐)は、5月12日から22日までの間、演習場春季定期整備(然別演習場)に参加した。



▲野焼きの火入れ

美幌駐屯地において5月8日に整備開始式を行い、チェーンソー等の器材取扱要領、不発弾捜索・野焼きにおける安全管理事項、車両の安全運行、野営場の規律等を教



▲チェーンソーを操作する女性自衛官

育した

各中隊は、行進命令に基づき5月12日午前7時、然別演習場に向けて前進を開始し、到着後、直ちに整備地域の偵察を行い、5月13日から19日までの間、支障木の伐採、道路整備、火災防止のための弾着地域の野焼き等を実施した。

定期整備には女性自衛官3名が作業隊員として参加し、チェーンソー操作等に従事し、整備任務完遂に寄与した。

本整備間、各級指揮官が現場において指揮下隊員を積極的に指導しつつ、隊員一人ひとりが安全に関する高い意識を持ちながら整備を推進し、一件の事故なく整備任務を完遂した。

自衛官としての体力を鍛えろ

自衛官候補生第1回体力検定

自衛官候補生教育隊

第6即応機動連隊自衛官候補生教育隊は、4月24日、美幌駐屯地において候補生に対し第1回体力検定を実施した。

本体力検定は、自衛官として必要な体力を測定するものであり、合格を目標に候補生は入隊以降、継続的に体力を練成してきた。

候補生は、各種目で1回、1秒でも記録を伸ばすため、歯を食いしばり、必死に同期と競り合い、普段以上の実力を発揮することができた。今回の成果を踏まえ、自衛官候補生教育隊は更



▲最後まで力を振り絞る

北辰新聞編集局より

お待ちしてます



平素から北辰新聞をご愛読頂き、誠に有難うございます。編集局では、協力諸団体等や駐屯各部隊の訓練、行事、イベント等を記事にて積極的にPRしていきたいと考えておりますので、情報提供をお待ちしております。

愛される駐屯地を目指して 地域の活動に積極的に参加



▲境内を覆うこいのぼり

本部管理中隊 ボランティア活動

第6即応機動連隊本部管理中隊(中隊長・関勝伸1等陸尉)は4月26日、美幌神社においてこいのぼり掲揚ボランティア活動を実施した。

本活動は、ボランティア活動を通じて社会人として必要な道徳心を涵養するとともに、規律心の向上を図ることを目的として実施した。

今回参加した事業は、美幌「結の会」(安藤礼子会長)により、平成25年に始められた「こいのぼり」という事業で、この名称は、こいのぼりと、子供たちの成長を見守り(子守)及び神社を表現する杜(もり)から命名されており、端午の節句を祝うため、「良い子(415)」にちなみ、415匹のこいのぼりを神社一帯に掲揚するものである。結の会会員は少人数で高齢の方が多いが、活動に参加した隊員の貢献により、予定より早く進捗し、作業が終了した。

本活動を通じて、隊員の貢献意識を養うとともに、地域に根ざした駐屯地として、住民との結びつきを強化することができた。

曹友会・修親会 神社清掃



▲親子で協力

美幌駐屯地曹友会(曹友会長・田中幹典曹長)は4月19日、美幌神社において、駐屯地修親会(会長・中津健士1佐)との合同により、ボランティア清掃活動を実施した。

本活動は、隊員相互の親睦を図るとともに、「愛される駐屯地」のイメージの下、奉仕精神の醸成及び地域住民の自衛隊に対する理解の深化を図ることを目的に実施した。

午前8時25分、隊員と隊員家族の参加者が美幌神社境内に集合し、曹友会長が挨拶を述べた後、参加者全員で本殿に拝礼を行い、清掃活動を開始した。

参加者は、参拝者が気持ちよく訪れることができるように参道や社殿前などの雪解けで重くなった枝や枯葉等を集め、1t集積袋やシートによりトラックまで運搬し、大勢の参加者が協力してトラックに積載した。



▲1人でも大丈夫!

ボランティア清掃活動を継続していく。

午前10時30分には参道や社殿前は見違えるほど綺麗になり、1件の事故もなく無事に清掃活動は終了した。

美幌駐屯地曹友会及び駐屯地修親会は今後も愛される駐屯地を目指してボランティア清掃活動を継続していく。

意見しやすい雰囲気を醸成！

女性自衛官座談会

美幌駐屯地業務隊

美幌駐屯地業務隊(隊長・生稲学2佐)は5月23日、美幌駐屯地において、第1回美幌駐屯地女性自衛官座談会を実施した。

本事業は、駐屯地に所属する女性自衛官が相互に相談できる場を設定して女性自衛官の活躍推進に資することを目的として年に2回実施している。

今回はライフプランセミナー及び部外カウンセラーによるグループワークを取り入れ、より一層の環境醸成を図った。

当初、全般説明を行った後、ライフプランセミナーを実施した。ここでは講師として日本生命の金田浩一氏が登壇し、女性特有の病気に備えて保険の見直し等について話が合った。

次に営内者と営外者に分かれて座談会を実施し、施設と業務に関する要望等をテーマとして意見を取りまとめた。

その後、駐屯地部外カウンセラーの亀井美和氏によるグループワークを全員で実施した。実施要領は、ゴールデンウィークの過ごし方や楽しかったことについて話し合い、取りまとめた意見をグループ代表者が発表した。

参加者からは「普段話したことのない隊員とのコミュニケーションがとれて良かった」、「色々な考えを聞けて良かった」等の意見があった。

美幌駐屯地業務隊は本事業を通じて女性自衛官は、生活環境及び勤務環境の問題点を提起するとともに、隊員相互の理解を深める良い機会となった。

美幌駐屯地業務隊は本事業を通じて女性自衛官は、生活環境及び勤務環境の問題点を提起するとともに、隊員相互の理解を深める良い機会となった。



▲ライフプランセミナー



▲営外者グループ



▲普段話すことのない隊員との交流



6 即機本部
2 等陸尉 川原井 浩
(7月20日付)



業務隊長 柏崎靖司
(7月16日付)



6 即機火支中
1 等陸曹 松川潤市
(7月4日付)

7月 退官者紹介

フレッシュアップ



美幌町役場 建設部
建設課 都市整備グループ

高橋 帝 午 さん

氏 名	性 格
職 業	好きな料理
星座・血液型	別 紙
出身地	自衛隊で見てみたい物
趣 味	何か一言